

NEWS LETTER

TOPICS

#1 新年のごあいさつ

#2 AWS re:Invent 2022
新サービス・アップデート情報

#3 1月24日
セミナー開催決定

* TOPICSの各タイトルをクリックすると該当の記事へ飛びます

#1 新年のごあいさつ



謹んで新年のお祝いを申し上げます

旧年中はひとかたならぬご厚情を賜り誠に有難うございました

昨年はセキュリティサービスの拡充とMSPサービスのマルチクラウド展開をメインテーマに掲げ事業を推進して参りました
お客様やパートナー様からの厚いご支援を賜りまた社員一同が粉骨砕身の限り懸命に努力した結果目標は概ね成就しつつあります
そして人材への投資という3つ目のテーマについてはまだ道半ばではありますが次世代リーダーの育成や人員の増強など着々と成果が実りつつあります

本年もセキュリティサービスの拡充は引き続き進めて参りますがお客様により一層ご満足いただくために新たなサービスも積極展開してゆきたいと考えておりますのでご要望ご意見等がございましたら担当営業まで忌憚のないご意見を頂けますと幸いです
これまでに機会に恵まれなかったお客様とも共同セミナーを開催するなどして相互に成長するためのきっかけを作ることができれば最高です

本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます

PS: 本年よりニュースレターのデザインやレイアウトをリニューアルしました。ご意見、ご感想などございましたら是非お知らせください。

代表取締役 伊藤 誠史



#2 AWS re:Invent 2022 新サービス・アップデート情報

AWS re:Invent 2022は、2022年11月28日(月)～12月2日(金)までの5日間、ラスベガスのオフライン会場をメインに開催されました。(キーノートやリーダーシップセッションはストリーミング配信も実施されました。)

今年はなんと過去最大規模の参加者数となり、現地参加は5万人越え、オンライン参加登録も30万人越えとなりました。日本からも多数の方が現地参加されたとのことで、非常に盛り上がったイベントです。

今回は、こちらで発表された126個のAWSの新サービスやアップデート情報を一部抜粋してご紹介いたします!

PICK UP!

AWS re:Invent とは?

AWSによるクラウドコンピューティングに関する世界規模の「学習型」カンファレンスです。毎年数多くの新サービスや新機能、アップデート情報などが発表されるため、世界中で大変注目されるイベントです。

次ページへ

[前ページより](#)

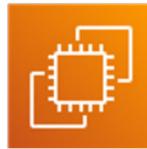
Compute & Container

■ EC2新インスタンスのリリース



- C7gn: 新装置のGraviton3EとNitro v5を積んだ新しいネットワーク最適化インスタンス。
※プレビュー版
 - HPC7g: Graviton3E搭載したハイパフォーマンスコンピューティング向けインスタンス。
 - R7iz: 高クロック周波数のCPUを搭載したメモリ最適化インスタンス。
※プレビュー版
- 他にも類似インスタンスとしてC6in、M6in、M6idn、R6in、R6idnなどがリリースされました。
※一般利用開始

■ EC2でMicrosoft Office入りAMIが利用可能に



- ライセンスはAWSから提供されます。長期的なライセンス契約やコミットなしで、オンデマンドでインスタンスを利用することが可能になりました。
※プレビュー版

Networking

■ ELBのアップデート



- ALBのAZにまたがったの負荷分散を無効化
- NLBのヘルスチェックを改善などが発表されました。
※一般利用開始

Database

■ RDS Optimized Reads/Writesのリリース



- Reads: Amazon RDS for MySQLで読み取りクエリ処理が最大50%高速になります。
- Writes: 書き込みスループットを最大2倍に向上することができます。
※一般利用開始

Security

■ AWS KMS



- KMSのルートキー格納先としてAWS外にある鍵管理システムが選択可能になるなど、外部鍵管理システムとの統合をサポートするようになりました。
※一般利用開始

Storage

■ S3



- S3 Access Pointで共有時の権限委譲が可能になりました。
- S3 Multi-Region Access Points failover controlがリリースされ、アクセスポイントに対してアクティブ/パッシブ構成による冗長化が可能になりました。
※一般利用開始

■ EBS io2ボリューム



- SRDベースで稼働することで、レイテンシとスループットが改善しました。
※SRD(Scalable Reliable Datagram)とは、AWSが開発したネットワークプロトコル

■ EFS



- 高頻度にアクセスするファイル・メタデータへの読み込みレイテンシを最大60%短縮しました。
- 64KB以下の小さいファイルとメタデータに対する書き込みレイテンシを最大40%短縮しました。
- ライフサイクルポリシーとして「1日」が設定可能になりました。
※一般利用開始

Cloud Operations

■ CloudWatch



- CloudWatch Internet Monitor: AWS上のアプリケーションに対して、インターネットからアクセスした際の可用性とパフォーマンスメトリクスが可視化可能になりました。
※プレビュー版
- CloudWatch Logsのデータ保護機能がリリースされました。
※一般利用開始

Others

■ AWS Elastic Disaster Recovery

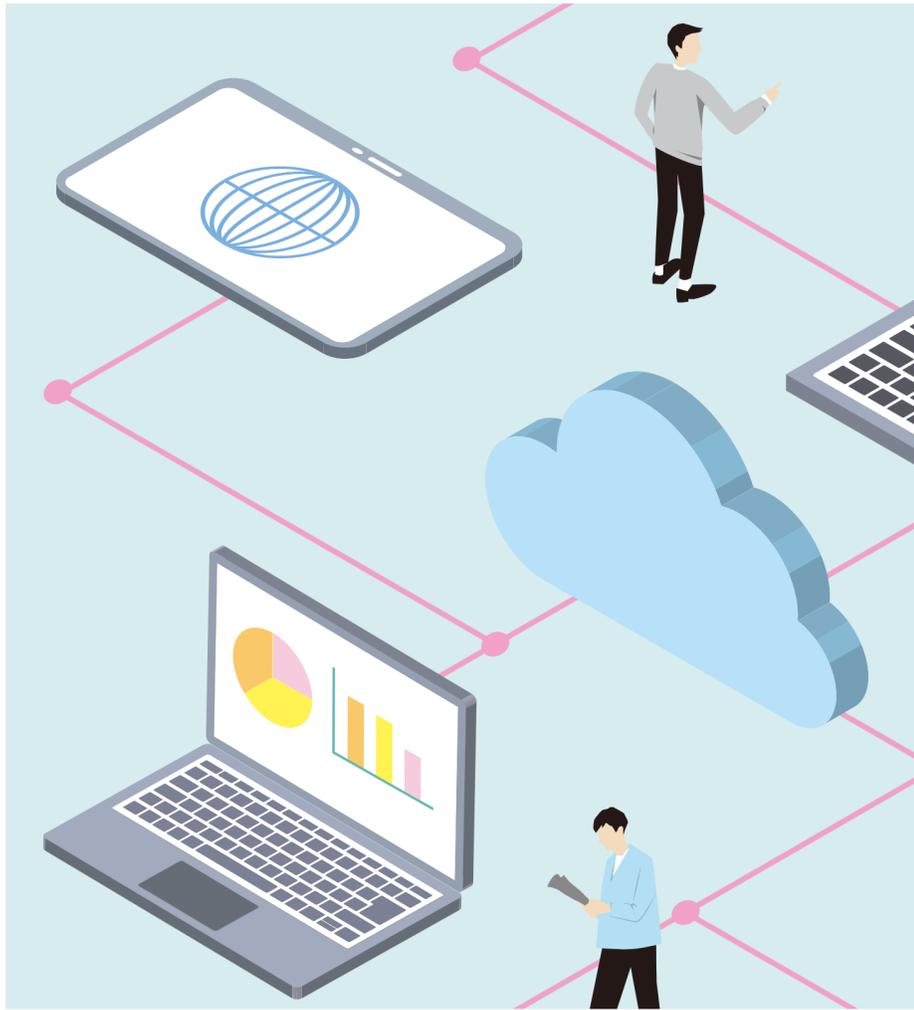


- AZ間およびリージョン間でフェイルオーバーした後のフェイルバックが可能になりました。
※一般利用開始

いかがでしたか?ご紹介した情報はあくまでも一部のため、詳細はAWSのニューズブログなども併せてご確認ください。ネットアシストでは、AWSに特化したマネージドサービスも提供しておりますので、ご興味のある方は是非お気軽にお問い合わせください!

#3 1月24日セミナー開催決定

この度、『集客とサーバー運用のキホンの“キ” 自社で取り組むWebサイト運用』と題しセミナーを開催いたします。今回は株式会社ジオコードとの2社合同セミナーです。



日程 2023年**1月24日**(火)
17:00～18:00

受付時間 16:55～ 参加費 無料

開催方法 Zoom 定員 100名

プログラム

セッション1

「まずはここから!サーバーのキホン・運用のキホン」
株式会社ネットアシスト

セッション2

「Webマーケティング インハウス化のいろは SEO編」
株式会社ジオコード

セミナー内容

Webのご担当者様や、Webサイトを一括管理されている方にお話を聞いてみると、このようなお悩みの声をよく聞きます。

- Webサイト管理は自社でしたい、けどサーバー管理って何をすればいいの？
- Webサイトは持っているけど、集客が難しい。どうすれば自社でもっと成果を出せるんだろう？

そこで、本セミナーでは「Webサイトに関わる全てのかた」に向けて、「Webサーバーのプロ」と「Webマーケティングのプロ」がそれぞれのキホンとイロハをお話します。

詳細の確認・お申込みは下記専用サイトからお願いいたします。

https://gc-seo.jp/journal/seminar_info/web-seminar/10071/

